
プロジェクト **企業会計基準諮問会議からの報告**

項目 **テーマに関する提言**

2023 年 11 月 29 日

企業会計基準委員会
委員長 川西 安喜殿

企業会計基準諮問会議
議長 石原 秀威

企業会計基準諮問会議 テーマに関する提言

I. 新規テーマの提言

2023 年 11 月 29 日に開催された第 49 回企業会計基準諮問会議において審議した結果、以下の提言をとりまとめましたので、ご検討賜りますようお願い申し上げます。

上場企業等が保有する VC ファンドの出資持分に係る会計上の取扱いを貴委員会の新規のテーマとすることを提言いたします。当該検討にあたっては、VC ファンドに相当する組合等の構成資産である市場価格のない株式を中心とする限定した範囲での対応を求める旨を付記します。

(提言の経緯)

- 2023 年 7 月 3 日に開催された第 48 回企業会計基準諮問会議において、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会より、上場企業等が保有する VC ファンドの出資持分について、公正価値評価を含む会計処理の検討が提案された。その提案を受け、企業会計基準諮問会議は貴委員会の金融商品専門委員会に新規テーマの評価を依頼した。
- 第 49 回企業会計基準諮問会議において、審議事項(1)参考資料 4 のとおり、金融商品専門委員会の評価が報告された。その結果は、以下のとおりであった。

以上を踏まえ、本件の提案について、次をテーマ評価のまとめとする。

- VC ファンドに限定せず市場価格のない株式について時価評価（評価差額は純損益）するオプションを認めるアプローチ（アプローチ C'）については、新規テーマとして取り上げる要件を満たしていると考えられ

る。

(2) アプローチC' の検討にあたっては次の項目をあわせて検討すべきと指摘されたため、参考として付言する。

- ① 市場価格のない株式が市場価格のない株式以外の株式になった場合の取扱い
- ② オプションの適用単位
- ③ 注記のあり方
- ④ 経過措置

3. 上記の金融商品専門委員会の評価の結果を踏まえて企業会計基準諮問会議において審議を行ったところ、アプローチC' については、時価評価するオプションをVCファンドの構成資産に限定しない点に関して、評価実務が成熟していない中で不適切な利用が行われる可能性があるとの懸念や比較可能性に対する懸念が企業会計基準諮問会議の委員より聞かれた。このため、提案者の提案であるVCファンドの構成資産である市場価格のない株式を中心に範囲を限定して検討を行うことを付記して、新規テーマの提言を行うこととなった。

以 上